

身体測定時の姿勢について

採寸する際の身体の姿勢について

採寸では こちらの様な姿勢で試みてください。

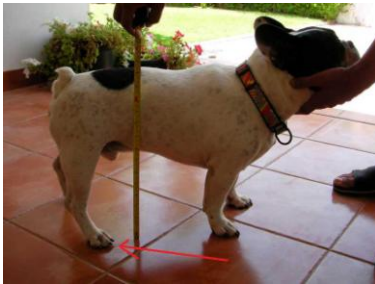
・愛犬をタオルや補助ハーネスなどを使い、立たせた状態にします。

その際に腰の位置が低すぎたり高すぎたりせず、

身体が上から見て背中が前後左右に曲がらないようにして

さらに後ろ脚が折り曲がらないように注意しながら採寸します。

普通に立てた状態を再現するような感じで姿勢を整えます。



そして採寸箇所のご説明に記載しています採寸箇所を測定して採寸用紙へご記入ください。

そして別紙に記載しています指定様式の写真を必ず、ご同封ください。

(上記の姿勢が無理な場合は次の姿勢で試みてください。)

愛犬を真横に寝かせて 背中姿勢はなるべく背筋を伸ばして

前後脚は、無理に伸ばさず、縮め過ぎない自然な姿勢位置に直します。

(不自由になる前の元気な時の姿勢がベストです) 各採寸を行います。



下記の場合は、この限りではありません。

障害や高齢で背中が 元々曲がっている場合。

事故や腫瘍などで背中が曲がっている場合。

麻痺している脚が 硬直や変形している場合。

このような場合は、自然体の姿勢で採寸しまして 別紙に記載しています指定様式の写真を必ず、ご同封ください。

・採寸など、万一、難しい場合は、ご一報ください。